

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (甲信越)		一般レストラン（経営者）	・長期間休業をしていた近くの日帰り温泉施設が、来月末に開業するため、来客数が増えるのではないかと期待している。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・1人暮らしの方からの相談や、役所から孤独死した人の火葬の依頼が増えている。また、永代供養墓の相談や依頼がますます増えて、こちらも過去最高の件数である。
		スーパー（経営者）	・前年、近隣の魚屋、酒屋が閉店したため、住民自治会や近隣地区からの注文がかなり増えている。先日も、自治会のゴルフコンペの打ち上げで折詰の注文をもらった。参加した他の地区の人から好評だったため、新たにその地区のゴルフコンペの打ち上げ用の折詰注文も受けている。
		コンビニ（経営者）	・11月はほとんど売れる材料はないが、12月になると年末商戦で、クリスマスやおせち、年賀状印刷など、いろいろとめじろ押しなので、ある程度業績は上がるだろうとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車業界を取り巻く環境は楽観できない要因が多いなか、今年は隔年開催のモーターショーがあるので、期待したい。
		自動車備品販売店（経営者）	・与党政権の継続による株高が、心理的に安心感をもたらしめている。
		スナック（経営者）	・不景気な話をしている客が本当に少なくなってきており、しばらくはこのまま良い景気が続いていくのではないが、
		スナック（経営者）	・来月はいよいよ忘年会シーズンに入ってくるので、年に1度の稼ぎ時が来る。今年はどうなるか、分らないが期待をしている。
		観光型旅館（経営者）	・今月の反動なのか、来月の予約は比較的好調である。その先も例年並みに回復するのではないかと期待する。ただし、この冬は雪が多いという長期予報もあり、天候次第で先行きは読めない部分がある。
		都市型ホテル（支配人）	・当地では衆議院選挙に続き市長選挙、市議会議員補欠選挙と選挙が続く、消費ムードが低迷している。これらが終わり通常の市民生活に戻るとみている。
		遊園地（職員）	・夏季に立ち上げた新施設や冬季のスケート場、イベント等により、多くの来園客があることを期待する。
		ゴルフ場（経営者）	・平日は男女とも年配者の来場が多いので、晩秋の晴天を期待する。また、年金受給のシニア層が多いせいか、セルフプレー率が高く、客単価は上がらない。
		設計事務所（経営者）	・仕事の予定は入っており、更に増えそうである。
		商店街（代表者）	・天候不順で旬の果物等に影響があり、年末に向けての贈答品の確保が大変である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節商材の動向も、古い、壊れそうだからという理由で買換えるケースはなく、壊れたときに購入する客が多い。真新しい物に飛び付く消費者はいない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・今より良くなる要素が見当たらない。
		百貨店（営業担当）	・ここ2～3か月の様子を見てみると、決して悪くなるというような感じは見受けられないが、良くなるには今一歩で、現状維持である。
		百貨店（店長）	・客は必要な物しか買わない。一方で、非常に高価な物が売れることもあり、以前より格差が広がっている印象である。一般客の購買意欲が出ないと景気回復はないのではないが、
		百貨店（売場担当）	・現在ではオンラインショップなど買物の環境が整っていて、個人は買い方を幅広く選択できるため、売上が大きく伸長することは非常に難しい。
		スーパー（経営者）	・株高は明るい材料だが、将来への不安感が変わらず、日常の食品消費への影響はほとんどない。生鮮品の相場安は継続しており、逆風は続く。
	スーパー（企画担当）	・人口は減っている状況で、相対的な購買力は落ちている。	
	スーパー（副店長）	・求人倍率などは高水準を維持しており、一部企業の景気は良いようだが、実際に景気の良さを実感するようなことは、正直ない。今の生活水準が続けられるだけで良いと考えおり、3か月先も変わらない。	
	コンビニ（店長）	・今後はキャンペーンなどがあり、なんとか前年並みくらいまではいくのではないかと希望もある。この先も客の状況は変わらないため、キャンペーンで若干取り戻すという状況が続く。	
	家電量販店（店長）	・具体的な景気回復が実感できない。	

	乗用車販売店（経営者）	・自動ブレーキシステムなどの自動車安全装置に関心が高まっているが、新車販売の増加に直接結び付いているとは言い難い。	
	乗用車販売店（経営者）	・国土交通省と自動車メーカーとの間で折り合いが付けば、販売は回復すると期待しているが、一度落ち込んだダメージは大きい。	
	乗用車販売店（管理担当）	・少子高齢化による人手不足で、中小企業を中心に売上の減少がみられる。個人収入が増えないため、自動車等への購買意欲は下降気味である。	
	スナック（経営者）	・悪くて変わらない。良くなる要素が全く見当たらない。政治も現政権で安定し、景気が上向けばよいと期待している。	
	観光型ホテル（支配人）	・来客数が多少伸びても平均客室単価は上らず、景気回復の実感はあまりない。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・衆議院選挙が終わり、やっと、個人、企業の動きが出てくるとみているが、当地の場合は、冬になると天候が非常に不順になるため、客足が鈍くなるケースもある。	
	タクシー運転手	・7月以降、7～10月と販売量、売上は95%程度に落ち込んでいる。夜の動きが悪く、1回当たりの単価も低い。	
	通信会社（経営者）	・通信各社の競争が激化しつつあり、今後も厳しい状況は続く。	
	住宅販売会社（従業員）	・別荘の仲介件数が低迷を続けている。	
	商店街（代表者）	・毎年11～1月と冬になってくると、昔と違って、当店のよう店は大店に対抗できず、冬は売れる物が少ないため、店の売上は悪く、大変である。	
	スーパー（経営者）	・食料品は当分厳しい状況が続くとみている。	
	コンビニ（エリア担当）	・消費の活発さはない。来年のたばこ増税なども含め、経済、社会全体の「先が見えない」ことに変わりはない。	
	一般レストラン（経営者）	・地元客に期待するものの、県外客に比べて客の動きが非常に悪い。	
	一般レストラン（経営者）	・最悪だった今月の余韻は尾を引くとみている。	
	旅行代理店（副支店長）	・2つの選挙の影響、荒天による農作物の被害や災害などが相次ぎ、来月以降の集客が減少している。また、自動車関連の下請企業などの動きが、自動車メーカーの不正検査問題で鈍くなってきており、今後の受注に大きく影響があるのではないかと懸念している。	
	美容室（経営者）	・従来、来客数は天候に左右されることなく変わらなかったが、最近では天候や気温の変化で来客数が変動するようになってきている。気温の低下に伴い、客の動きも鈍くなっている。	
	×	衣料品専門店（経営者）	・12～1月には冬支度を終えるので、品物が動かない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・好転材料の全くない状況が続いている。予約も変わらず低調で、フリー客が大幅に増える感触もない。
	×	ゴルフ場（経営者）	・人口構造から成長は望めない。特に、ゴルフ場では高齢化率が高く、数年先に大きな転換期を迎える事が予測されている。そうしたなかでも、会社の成長を目指して行かねばならず、できるか否かで明暗が大きく分かれる時代となっている。
企業動向関連 (甲信越)	-	-	
	食料品製造業（総務担当）	・年末年始の最需要期を迎えるため、やや良くなる。	
	食料品製造業（製造担当）	・状況はあまり変わらないが、店舗が集約されて、当社でも多少価格帯の高い店が残り、消費者が足を運ばば売上は確保できるとみている。スーパーは乱立しすぎである。	
	食料品製造業（営業統括）	・ヨーロッパの天候不順やカリフォルニアの火災等の影響もあり、世界的なワイン価格の高騰が予想されて、国産ワインの需要が増すとみている。	
	その他製造業【宝石・貴金属】（経営者）	・11～12月は展示会も多く、売上増を期待する。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・地元工業見本市への出展で、受注へのつながりを期待している。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・国内受注は堅調に推移しているが、海外需要に不透明感があり、全体としては変わらない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・若干の受注はあるものの確定しないため、現状が続きそうである。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・3か月先までの生産はおおむね確保しているが、その後の見通しはかなり不透明になっている。	

		金融業（調査担当）	・製造業の改善の動きが、今後も継続すると見込まれ、非製造業にも波及していくと期待するが、時間はかかるとみている。
		金融業（経営企画担当）	・取引先の小売業によると、相変わらず、客は必要な物以外の消費を控えている傾向で、今以上の景気浮揚はないとみている会社が多い。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・大手おもちゃ販売店のクリスマスチラシは、前年の3分の1程度の予定という情報がある。量販店では年末年始は前年並みを確保できれば良いとの見通しである。
		建設業（経営者）	・技術者不足や冬季に向かうために、受注は少なくなるようである。
	x	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず資金繰りは大変で、売上、利益共に上がらない。
雇用関連		職業安定所（職員）	・求人は増加傾向で、求職者は減少傾向にあることから、今後も求人倍率は上昇すると見込まれる。
		-	-
(甲信越)		人材派遣会社（営業担当）	・ボーナス支給時期は近付いているが、消費意欲が湧かない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・これから12月までは季節的なパート、アルバイトの募集が多くなるが、例年この時期の正社員募集は少ない。
		職業安定所（職員）	・当所の有効求人倍率は、パートを含む全数だが、7月1.78倍、8月1.44倍、9月1.43倍となっており、4月以降上昇していたが下落に転じたこと、また、新規求人数の伸びが、前年同月比マイナス0.6%と、大幅な改善は見込めない。
		職業安定所（職員）	・求人増、求職者減の傾向は変わらず、離職者の補充に苦心する企業も多く、人手不足の改善は進まない。また、在職求職者の増加がみられるものの、労働条件の確認等、応募に慎重な姿勢もうかがわれる。
		民間職業紹介機関（経営者）	・旺盛な求人があるものの、正社員求人に変化はない。企業間格差が目立ち、リストラ話も聞き始めている。人材の流動化が大きくなると予測できそうである。
		-	-
	x	-	-